



ふくもっちゃんの部屋 ～図書館福袋～

今回は不定期に開催している『ライブラリー福袋』について紹介します。



『ライブラリー福袋』とは？

○職員がテーマに沿って選んだ3冊を、紙で包み、中がわからない状態で貸出をします。
何が入っているかは、開けてからの楽しみです！
テーマ例：歴史系ミステリ、女性アイドル、まずい本…
※本は1冊ずつご返却いただけます。

○現在、新型コロナウイルス感染症の影響により図書館のイベントが縮小しています。
そのような中で、図書館を楽しんでいただけるように企画しました。

★福袋に封入されているアンケートにお答えいただいた方には、手作りの栞をプレゼントいたします。

次回は3月10日から22日まで開催予定です。
興味のある方はぜひご来館ください。お待ちしております。



～「朗読会 ことのはの時間」開催のお知らせ～

図書館職員による、大人のための朗読会です。

日時 令和3年3月13日（土）午後2時30分～3時

場所 コラッセふくしま3階 302会議室

定員 15名（先着順）※事前申し込み・参加費は不要です

※当日はマスクの着用をお願いいたします

※新型コロナウイルス感染症の状況により、中止となる場合があります

図書館カレンダー 3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

図書館カレンダー 4月

日	月	火	水	木	金	土
						1
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

※4月21日～26日は特別図書整理期間のため、
休館となります。

印は休館日

2021年3月1日発行

編集：福島市西口ライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町1-20
TEL024-525-4023
発行：福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町1-1
TEL024-531-6551
ホームページ：
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/tosyo-kanri/kanko/toshokan/>
ふくしまウェブ携帯版アドレス
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/mobile>



福島市西口ライブラリー広報

西口ライブ発信

2021年
3・4月号



新着本案内



『辞典語辞典』

見坊 行徳・稲川 智樹 文 いのうえ さきこ 絵

誠文堂新光社(813-ケンボ)

「幽霊語」とは辞典に載っているが実際には使われていない言葉のこと。「芋辞書」とは出来の悪い辞典のこと。

国語辞典にまつわる様々な言葉を「辞典語」とし、そのディープな世界をイラストと共に紹介しています。



『図解SDGs入門』

村上 芽 著

日経BP日本経済新聞出版本部(333-ムラカ)

SDGs(持続可能な開発目標)を考えるにあたって知っておくべき現状を、65のテーマで掘り下げます。男女の賃金格差、増加する自殺率、異常気象で生まれる気候難民などを、SDGsの観点から理解を深めることができます。



『入浴の質が睡眠を決める』

小林 麻利子 著／カンゼン(498-コバヤ)

寝付けない、寝たりないなどの睡眠に関する問題を入浴の質向上で解決しましょう。深部体温の変化が脳に与える影響や、熟睡するための工夫などが分かります。時間がないときの入浴法も必見です。



『女性のための
アンガーマネジメント』

川崎 昌子 著

産業能率大学出版部(141-カワサ)

アンガーマネジメントとは、怒りの感情と上手く付き合いながら心穏やかに生きるためのノウハウです。本書では、怒りのメカニズムを解説し、職場や家庭などで女性がよく感じる怒りについて25例を挙げ対処法を紹介しています。



『NHK ラジオ深夜便文豪通信』

中川 越・NHK『ラジオ深夜便』制作班 著

河出書房新社(910.2-エヌエ)

宮沢賢治、芥川龍之介など、文豪たちがプライベートで綴った書簡の数々。懇願やお詫び、ラブレターなど、普段の作風とは異なる素顔を垣間見ることができます。作家ならではの豊かな表現にも注目です。

新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

渋沢栄一「論語と算盤」の思想入門 守屋 淳 著／NHK 出版(289－フジサ)	ふつうでない時をふつうに生きる 岸本 葉子 著／中央公論新社(914. 6－キシモ)
愛と性と生存のはなし 赤坂 真理 著／NHK 出版(367－アカサ)	いいかげん、馬鹿 中野 翠 著／毎日新聞出版(914. 6－ナカノ)
かゆみをなくすための正しい知識 順天堂かゆみ研究センター 著／毎日新聞出版(494－カユミ)	眠れる美男 李 昂 著／藤井 省三 訳／文藝春秋(923－リアン)
視力を失わないために今すぐできること 深作 秀春 著／主婦の友社(496－フカサ)	小麦の法廷 木内 一裕 著／講談社(F－キウチ)
はやぶさ2最強ミッションの真実 津田 雄一 著／NHK 出版(538－ツダユ)	月下美人を待つ庭で 倉知 淳 著／東京創元社(F－クラチ)
CHOCOLATE DESSERT チョコレートで作る極上デザート 小山 千尋 著／成美堂出版(596－コヤマ)	ゴールデンタイムの消費期限 斜線堂 有紀 著／祥伝社(F－シヤセ)
基礎からわかるおいしいオウトウ栽培 富田 晃・米野 智弥 著／農山漁村文化協会(625－トミタ)	旅する練習 乗代 雄介 著／講談社(F－ノリシ)
あおり運転 菰田 潔 著／彩流社(681－コモダ)	七十四秒の旋律と孤独 久永 実木彦 著／東京創元社(F－ヒサナ)
家族と社会が壊れるとき 是枝 裕和・ケン ローチ 著／NHK 出版(778－ロチケ)	ざわめく傷痕 カリン・スローター 著／ハーバーコリンズ・ジャパン(P933－スロタ)
まいにち英会話 石原 真弓 著／ナツメ社(837－イシハ)	へんろ宿 藤原 緋沙子 著／新潮社(PF－フジワ)

作家と



温泉

作家と温泉は、切っても切れない関係です。志賀直哉は、湯治のために訪れていた兵庫県の城崎温泉で『城の崎にて』を執筆しました。川端康成は、何度も訪れた静岡県の湯ヶ島温泉を舞台に『伊豆の踊子』という作品を書いています。ほかにも温泉好きの作家は数知れず。例えば、旅を愛した井伏鱒二が、可愛がっていた太宰治と温泉で撮った写真が残っています。夏目漱石や内田百閒など、文豪と呼ばれる作家たちも温泉を愛していました。

日頃の執筆の疲れを癒し、さらに創作のアイデアまで生まれる温泉は、作家たちにとって大切な場所だったのかもしれませんが。

参考文献:『文豪が泊まった温泉宿50』週刊朝日編集部 著／朝日新聞出版(910. 2－ブンゴ)

『作家と温泉』草ナギ 洋平 編／河出書房新社(910. 2－サツカ)

ライブラリアンの

展示★名作案内

NEW

—Face、Hobby、Style、Job、Crime



『イマジン?』
有川 ひろ 著
幻冬舎(F－アリカ)

憧れの映像制作の世界に、バイトとして飛び込んだ良井良助。現場での働きぶりが評価され、制作会社「殿浦イマジン」に正式に採用される。撮影現場が上手く回るよう、頭をひねりながら奔走する良助の成長を描く物語。



『着物の国のはてな』
片野 ゆか 著
集英社(593－カタノ)

気軽な気持ちで和装生活を始めた著者。しかし着物は、根拠不明な約束事だらけの服だった！ 老けて見える、着付けのルール、「着物警察」の存在など、自力では解明困難な謎ばかり。有識者の知恵も借り、このモヤモヤをひも解きます。



『あなたがひとりで生きていく時に知っておいてほしいこと』
辰巳 渚 著／文藝春秋(590－タツミ)

お米ってどうすれば炊ける？ ごみはいつ出せばいい？ など…。ひとり暮らしをするために、必要な知識が全て詰まった一冊。新生活を始める方はもちろん、自分自身の生活を見直したい方にもおすすめです。



『古くてあたらしい仕事』
島田 潤一郎 著
新潮社(023－シマダ)

たった一人で「夏葉社」という出版社を立ち上げた著者。息子を亡くしてしまった叔父と叔母の支えになるような本を作りたい。きっかけはそんな想いからだった。

何度も読み返される本を妥協せずに作り続けた10年間の記録です。



『サイバーアンダーグラウンド』
吉野 次郎 著
日経 BP(368－ヨシノ)

独学でハッキングを続けた少年、Amazonなどのレビュー操作を請け負う企業、北朝鮮のサイバー部隊を育てた後脱北した教授…。彼らの目的や背景にあるものは何か。

近年増えているサイバー犯罪に関わる人々に取材を重ね、そのからくりを迫る。